

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標 4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち
--------	------------------------

施策 4－1 教育環境の整備

施策 4－2 未来を創る教育の充実（小・中学校）

施策 4－3 生涯学習活動の推進

施策 4－4 青少年の健全な育成

施策 4－5 市民スポーツ活動の推進

施策 4－6 歴史・芸術文化の振興

施策 4－7 郷土愛の醸成

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	15	15	16	16	16	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	11	8	9	0	0		
				達成率	73.3%	53.3%	56.3%	0.0%	0.0%		
O1	小・中学校の規模と配置の適正化の推進		達成状況	指標数	1	1	2	2	2		
				達成数	1	1	2	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	O101 「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」の実現	東・西・旭小3校の円滑な統合の実現	R1	目標値	協議会の開催	統合の実現	統合後のフォローアップの実施	統合後のフォローアップの実施	統合後のフォローアップの実施	実現	教育総務課
		基本方針の策定	実績値	2回開催	実現	実施済					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O102	新たな基本方針の検討	新たな基本方針の策定		目標値	－	－	3校統合後の検証	後期方針内容の検討	新たな基本方針の策定	－	教育総務課
				実績値	－	－	検証済				
			※1	評価	－	－	○ 達成				
年度評価	R3	O101 年4回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により年2回の開催となった。									
		O102 －									
	R4	O101 統合地域協議会を3回開催し、了承を得た上で統合の実現を達成した。									
		O102 －									
R5	O101 統合後の通学支援としてスクールバスの運行及び乗車場所での見守り、スクールバスを利用しない場合には路線バス通学定期券の1割補助を実施し、統合における通学の負担を可能な限り抑えた。										
	O102 東・西・旭小学校統合後に伊東小学校の教職員及び保護者を対象にアンケートを実施した。										
中間評価	O101（達成状況） B										
	（実績評価）	・基本方針に基づく、適切なプロセスを踏んで統合を実現した。									
	（今後の対応）	・教育委員会が目指す学校像「夢と希望を育む学校」の実現に向けた適切な環境の実現を図るため、各地区の具体的方策を教育問題懇話会で調査審議していく。									
	O102（達成状況） B										
	（実績評価）	・アンケートによる意見を分野ごとに集約した。									
	（今後の対応）	・後期方針の策定に当たり、3校統合の検証結果として教育問題懇話会にて報告する。									

※1 令和5年度から着手するものであることから、基準値を一とした。

02	学校施設の環境整備及び老朽化対策		達成状況	指標数					単位	担当課	
				達成数	1	1	1	0			0
				達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%			0.0%
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0201	学校校舎トイレの改修 （床の乾式化・洋式便 器の増設等）	校舎内トイレの洋 式化率	R2	目標値	55.0	65.0	75.0	85.0	100.0	%	教育総 務課
			49.3%	実績値	51.5	61.8	68.0				
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0202	映像装置のデジタル化 改修	整備済学校の割合	R2	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総 務課
			6校／ 15校	実績値	6/14	6/14	6/12				
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0203	校舎屋上防水工事の実 施	実施済学校の割合	R2	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総 務課
			7校／ 15校	実績値	7/14	8/14	8/12				
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0204	学校施設の長寿命化を 図るための大規模修繕 の検討	具体的な改修計画 の策定	R2	目標値	1/14	1/14	1/12	2/12	2/12	校	教育総 務課
			0校	実績値	1/14	1/14	1/12				
			評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
R3	0201 東小学校校舎トイレの洋式化を実施し、24基を整備したが、全体実績値は目標が達成できなかった。令和4年度は南小学校および門野中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。										
	0202 各教室のデジタルテレビ（電子黒板）の整備と併せて検討していく予定だったが、電子黒板のみの整備となった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0203 東小学校校舎屋上防水工事を実施しているが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0204 東小学校校舎の改修計画を策定した。老朽箇所の把握や学校のあり方の要望調査に時間を要するためR4以降の目標値を変更した。										
R4	0201 南小学校及び門野中学校校舎トイレの洋式化を実施し、75基を整備したが、全体実績値は目標値を達成できなかった。令和5年度は南中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。										
	0202 各教室のデジタルテレビ（電子黒板）の整備と併せて検討していく予定だったが、目標値を達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0203 東小学校校舎屋上防水工事を実施したが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0204 東小学校校舎の改修を完了した。										
R5	0201 南中学校西側校舎トイレの洋式化を実施し、新たに25基を整備したが、全体実績値は目標値を達成できなかった。令和6年度は残る南中学校東側校舎トイレの洋式化を実施し、洋式化率の低い学校の改修を計画したい。										
	0202 各教室のデジタルテレビ（電子黒板）の整備と併せて検討していく予定だったが、目標値を達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0203 東小学校校舎屋上防水工事を実施したが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。										
	0204 伊東小学校（旧東小学校）校舎の改修を完了した。										
中間評価	0201（達成状況） D										
	（実績評価） ・校舎内トイレの改修を進め、洋式化率は向上したが、一部予定した工事が実施できず、目標値は達成できなかった。										
	（今後の対応） ・引き続き改修工事を実施するとともに、後ろ倒しとなった工事計画の早期実施について検討する。また、過去に国の補助金を得て改修したトイレにおいて、和式便器が整備されたケースもあるため、この取扱いについても検討する。										
	0202（達成状況） D										
	（実績評価） ・Wi-Fi設備の修繕や増設を優先したため、目標値を達成できなかった。										
	（今後の対応） ・教育環境の変化により、映像装置のデジタル化よりもWi-Fi環境の整備が求められている。既存設備の改修と併せて、教育現場から求められる設備の整備に努めていく。										
	0203（達成状況） D										
	（実績評価） ・1校について屋上防水工事を実施したが、整備順位の変更に伴い、目標値は達成できなかった。										
	（今後の対応） ・屋上防水工事は、躯体に対する工事やライフラインの更新を実施する長寿命化改良工事と密接に関係するため、中長期的な長寿命化計画や配置適正化計画と併せて効果的に計画していく。										
	0204（達成状況） B										
	（実績評価） ・1校について、大規模修繕を実施し、より長期間施設を利用できる整備を実施した。										
	（今後の対応） ・よりよい長寿命化改良に向け、整備計画を推進していく。										

03	学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進			達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
				達成数	4	3	3	0	0			
				達成率	80.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301	今後の児童生徒数を見据えた学校調理場の集約	給食調理実施校（委託校を除く。）1校当たりの調理員（短時間パート職員を除く。）の配置人数	R1 11人／4校	目標値	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	人	教育総務課	
				実績値	8人／3校	8人／2校	5人／1校					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0302	安全安心な給食の提供	買物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数（市内全校）	R1 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	教育総務課	
				実績値	0	0	0					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0303	魅力ある学校給食の提供	給食における残食率（市内全校）	R2 6.24%	目標値	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	%	教育総務課	
				実績値	7.55	8.02	9.27					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0304	学校給食を通じた食育の推進	給食の時間における食に関する年間指導計画の作成率	R2 13校／15校	目標値	14/14	14/14	12/12	12/12	12/12	校	教育総務課	
				実績値	14/14	14/14	12/12					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0305	学校給食を活用した地産地消の推進	給食食材に占める市内産食材の使用割合（市内全校）	R2 5.0%	目標値	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	%	教育総務課	
				実績値	10.9	5.3	4.8					
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
R3	0301 R3年度2学期から富戸小学校を学校給食センター受配校とした。次年度は3校（東小・西小・旭小）統合により西小が廃校となることから、単独調理場は八幡野小だけとなる。今後も単独校の良さを活かした学校給食の提供を目指す。											
	0302 給食センターを拠点に情報の共有を図り、安心安全な給食提供の実現に努めた。R3年度は施設ごと、点検項目に沿った衛生管理について作業確認を実施し、八幡野小は研究授業方式による衛生管理研究会を開催して衛生意識の向上に努めた。											
	0303 献立のあり方について検討する会議を定期的に開催し、ふるさと給食や地産地消等を活用した魅力ある給食の提供を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大による喫食方法（熟食）の影響を受けたことによると思われるが、過去で最も高い残食率となった。											
	0304 市内の小中学校で給食の時間や教科において、栄養教諭を中心に食育年間指導計画に沿った計画的な食指導を実施した。今後も給食関係職員が定期的に学校給食センターで情報交換を実施することにより、食育活動、食指導の推進を図りたい。											
	0305 地元農家をはじめ、農協や青果店などの協力もあり、地元で生産された野菜等を納入できる機会が増え、安定的に使用することができた。「地産地消推進事業」の活用により、使用回数・使用量も増加傾向にあり、今後も伊東産食材の積極的な活用を目指す。											
R4	0301 R5年度から東小・西小・旭小の統合により西小・旭小が廃校となり、伊東小学校となったことから、単独調理場は八幡野小だけとなった。単独校の良さを活かした学校給食、また、共同調理場、給食センターについては大量調理ならではの美味しい給食提供を目指す。											
	0302 給食センターを拠点に情報の共有を図り、安心安全な給食提供の実現に努めた。R4年度は衛生管理について研究会を開催することで作業確認を実施し、衛生意識の向上に努めた。											
	0303 献立のあり方について検討する会議を定期的に開催し、ふるさと給食や地産地消等を活用した魅力ある給食の提供を実施した。リクエスト給食を実施するなど、児童生徒の嗜好を考慮した献立作成を心がけ、残菜量の軽減にも取り組んだ。さらに、各校で食指導を行い、環境面や栄養面から残さないで食べるように児童生徒への指導を充実していく。											
	0304 市内の小中学校で給食の時間や教科において、栄養教諭を中心に食育年間指導計画に沿った計画的な食指導を実施した。今後も給食関係職員が定期的に学校給食センターを中心に情報交換をすることにより、食育活動、食指導の更なる推進を図りたい。											
	0305 地元農家をはじめ、農協や青果店など多方面の協力もあり、地元で生産された野菜等を納入できる機会が増え、年間を通じて安定的に使用することができた。「地産地消推進事業」の活用により、使用回数・使用量・野菜の種類も増加傾向にあり、今後も伊東産食材の積極的な活用を目指す。											
R5	0301 単独調理場は八幡野小だけとなった。令和5年度から幼稚園給食も始まり、八幡野小で調理した給食を運搬している。学校給食センターや共同調理場よりも食数が少ない直営の良さを活かした美味しさにこだわった学校給食を提供する。また、共同調理場、学校給食センターについては大量調理の利点を生かした給食提供を目指す。											
	0302 学校給食の衛生管理基準を遵守し、衛生管理研究会を開催することで衛生状態を把握して安心安全な給食を提供できるよう、衛生意識の向上に努めた。											
	0303 献立については共通献立の作成、各校の施設・設備、人員を考慮しての調整など、各校でふるさと給食や地産地消等を活用した魅力ある給食の提供を実施した。リクエスト給食を実施するなど、児童生徒の嗜好を考慮した献立作成を心がけ、残菜量の軽減に取り組んだが、調査時期に感染症の影響で残菜率の軽減とはならなかった。											
	0304 給食時にはICTを活用した食育を実践し、教科においても栄養教諭を中心に食育年間指導計画に沿った計画的な食指導を実施した。今後も給食関係職員が定期的に学校給食センターを中心に情報交換をすることにより、食育活動、食指導の更なる推進を図りたい。											
	0305 地元で生産された野菜の種類や量には限界があり、市内産の食材の活用率は低いままとなっている。学校給食用に魚の切り身を提供していた漁協からの購入がほとんどない状態であるが、今後も「地産地消推進事業」の活用により、使用回数・使用量・野菜の種類を増加できるように、多方面に働きかけることで伊東産食材の積極的な活用を目指す。											
中間評価	0301（達成状況）		A									
	（実績評価）		・今後の児童生徒数を見据えた学校調理場の集約としては、令和元年度に4校だったものを1校に集約できている。									
	（今後の対応）		・今後は、残り1校を維持すべきか集約すべきか最終段階の検討をすることになる。									
	0302（達成状況）		A									
	（実績評価）		・学校給食における衛生管理基準に準拠した作業が遂行できるよう、施設の維持管理、修繕、備品購入など、衛生管理基準の遵守に向けて確保できた予算を最大限に生かした対応ができた。									
中間評価	（今後の対応）		・大型の機器の入替えや、施設の維持管理に必要な大規模修繕について検討する必要がある。実施時期が夏季休業中に限られることから、修繕内容を期間内に終結できるように調整することも必要となっていく。									
	0303（達成状況）		D									
	（実績評価）		・コロナ禍において、熟食の習慣が身についていたことや、給食時間の児童を巡回指導できなかった事も要因として考えられる。また、配膳されたものの量を調整できなかったことで、食べきれない児童生徒の残菜が多くなってしまった。									
	（今後の対応）		・食育の充実、特に給食時間にICTを活用することで、一斉指導が可能になることから、食育指導を充実させ、献立面の改善も行うことで、魅力ある学校給食の実現に向けて取り組み、残菜率が軽減できるようにしていきたい。									
	0304（達成状況）		A									
中間評価	（実績評価）		・給食の時間における食に関する年間指導計画の作成率は100%であり、その内容についても、伊東市教育研究会学校給食部会を中心に取り組み、給食時間や授業での食育活動は充実した内容となってきている。									
	（今後の対応）		・年間指導計画を精査し、各学年の授業に合わせた食育活動を展開するなど、より具体的に児童生徒に寄り添った内容としていけるように、関係職員との連携を強化していきたい。									
	0305（達成状況）		C									
	（実績評価）		・令和3年をピークに、年々減少傾向である。要因として、地場産野菜の収穫量減少、地元漁獲量の減少など、地域資源が少なくなっている傾向が挙げられる。特に、漁協の学校給食部門への納入撤退が地産地消活用率の減少に大きく影響した。									
	（今後の対応）		・希望しても購入できない状況が続いているが、納入業者を公募にて募集するなど納入業者の拡大に努めたい。また、生産者や農協と連携を強化し、学校給食への理解を促し、協力体制を整えることで購入量が増加できるようにしたい。									

O4 最先端のICT教育環境整備の充実			達成状況	指標数	5	5	5	5	5			
			達成数	5	3	3	0	0				
			達成率	100.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401	児童生徒及び教職員1人1台端末環境の維持拡充	教員1人当たりの指導者用コンピュータ数	R1 0.40台	目標値	1	1	1	1	1	台	教育総務課	
				実績値	1.03	1.05	1.07					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O402	校内LAN（無線LAN）環境の維持拡充	整備済学校の割合	R1 0%	目標値	100	100	100	100	100	%	教育総務課	
				実績値	100	100	100					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O403	大型提示装置の小中学校の全普通教室・特別教室整備	整備済教室の割合	R1 35.2%	目標値	60.0	70.0	90.0	100	100	%	教育総務課	
				実績値	64.7	62.0	69.0					
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
O404	実物投影機的全普通教室・特別教室整備（小学校）	整備済教室の割合	R1 35.2%	目標値	36.0	50.0	70.0	90.0	100	%	教育総務課	
				実績値	40.4	36.6	43.6					
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
O405	デジタル教材を活用できる環境の整備	児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	R1 0.16台	目標値	1	1	1	1	1	台	教育総務課	
				実績値	1.03	1.07	1.11					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	O401 令和3年度の児童生徒数3,761人に対し、端末3,872台（令和3年度末）を整備した。										
		O402 無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。										
		O403 令和3年度中に新たな大型提示装置は整備できなかったが、R2年度に中学校の普通教室及び一部特別教室に大型提示装置68台を整備したことにより目標を達成できた。										
		O404 令和3年度中に新たな実物投影機は整備できなかったが、教室数の減少により目標を達成できた。										
		O405 令和3年度の児童生徒数3,761人に対し、端末3,872台（令和3年度末）を整備した。										
	R4	O401 令和4年度の教職員数291人に対し、端末307台（令和4年度末）を整備した。										
		O402 無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。										
		O403 令和4年度中に新たな大型提示装置を8台設置したが、特別教室への整備が目標に達しなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備済教室の割合が減少した。引き続き、大型提示装置を整備していく。										
		O404 令和4年度中に新たな実物投影機は整備できなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備済教室の割合が減少した。引き続き、実物投影機の整備を実施していく。										
		O405 令和4年度の児童生徒数3,594人に対し、端末3,844台（令和4年度末）を整備した。										
R5	O401 令和5年度の教職員数287人に対し、端末306台（令和5年度末）を整備した。											
	O402 無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。											
	O403 令和5年度中に新たな大型提示装置は整備できなかった。令和5年度から3校統合により、教室数は減少したため、実績値は上昇した。引き続き、学校現場に要望を確認し、必要に応じて大型提示装置の整備を進めていく。											
	O404 令和5年度中に新たな実物投影機は整備できなかった。令和5年度から3校統合により、教室数は減少したため、実績値は上昇した。引き続き、学校現場に要望を確認し、必要に応じて実物投影機の整備を進めていく。											
	O405 令和5年度の児童生徒数3,419人に対し、端末3,784台（令和5年度末）を整備した。											
中間評価	O401（達成状況） A											
	（実績評価）	・令和5年度の教職員数287人に対し、端末306台（令和5年度末）を整備した。										
	（今後の対応）	・令和5年度の実績は、すでに令和7年度の目標を達成しているため、今後の端末故障に対応していく。										
	O402（達成状況） A											
	（実績評価）	・無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。										
	（今後の対応）	・令和5年度までの実績は、令和7年度の目標を達成しているため、今後の文部科学省の対応を注視しつつ、今後の校内無線LAN環境の維持に努める。										
	O403（達成状況） C											
	（実績評価）	・令和5年度から3校統合により、教室数は減少したため、実績値は上昇しているが、高価な装置であるため、新たに大型提示装置を整備していくことが難しく目標数値に達していない。										
	（今後の対応）	・大型提示装置は学校現場でも非常に有用な装置であるため、授業には欠かせないものとなっている。引き続き、学校現場に要望を確認し、大型提示装置の整備を進めていく。										
	O404（達成状況） C											
（実績評価）	・令和5年度から3校統合により、教室数は減少したため、実績値は上昇しているが、デジタル教科書（指導者用）が標準装備されてきたことから、新たに実物投影機の整備を要求する学校現場が少なくなっており、整備の優先順位としては低いものとなっている。											
（今後の対応）	・優先順位は低くなってきているものの、学校現場での授業、主に特別教室での授業には欠かせないものとなっていることから、引き続き、学校現場に要望を確認し、実物投影機の整備を進めていく。											
O405（達成状況） A												
（実績評価）	・令和5年度の児童生徒数3,419人に対し、端末3,784台（令和5年度末）を整備した。											
（今後の対応）	・令和5年度の実績は、すでに令和7年度の目標を達成しているため、今後の端末故障に対応していく。											

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	18	20	20	21	21	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	7	8	8	0	0		
				達成率	38.9%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%		
O1 「学びに向かう力」の育成				指標数	6	6	6	6	6		
				達成数	1	3	1	0	0		
				達成率	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 確かな学力の向上	全国学力学習状況調査(小6・中3)で国語・算数(数学)の平均ポイント(全国平均を100とした場合)	R2	小	目標値	99.5	100.1	100.7	101.4	102.0	ポイント	教育指導課
		98.9	学	実績値	96.7	99.0	92.5				
		ポイント	校	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	
		R2	中	目標値	103.1	103.6	104.0	104.5	105.0	ポイント	教育指導課
O102 外国語教育の充実	「外国人や外国の文化に興味を持ち、積極的に接している」児童生徒の割合	102.6	学	実績値	101.6	98.8	99.3			以上	
		ポイント	校	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
		R2	小	目標値	64.5	65.0	65.5	66.0	66.5	%	教育指導課
		64.0%	学	実績値	63.7	65.7	65.1				
O103 ICT機器の効果的な活用	「授業の内容がよくわかる」と答えた児童生徒の割合	R2	中	目標値	55	60.0	60.5	61.0	61.5	%	教育指導課
		52.6%	学	実績値	54.5	53.7	53.3				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R3	O101 小中学校とともに目標値を下回っている。単純な問題よりも文章題等の応用力に課題があるため、普段の授業で文章を読み解く機会を設けるなど、応用力を付けられる課題の用意と文章への理解力を高められるようにしていく。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R4	O102 小中学校とともに目標値をやや下回ったものの、英語の授業や総合的な学習の時間を中心にして、外国語を学んだり他国の文化に触れたりしている。今後は、コロナの感染状況を考慮しながら、ALTやゲストティーチャーを活用した授業等を取り入れていく。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O103 タブレット端末が導入され、授業での活用や家庭への持ち帰りを段階的に進めてきた。今後は、各校でICTの活用を進め、効果的な方法は市内の全学校で共有するなどして、教職員のスキルアップを図る。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O101 実生活に基づいた応用的な思考力が必要となる問題が出題されるようになってきており、単純な問題よりも応用的な問題に対して課題がある。普段の授業の中で思考力を問うような課題を解決していく機会を設けていく。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O102 英語の授業を通して、ALTの活用を通して、他国の文化に触れたり、外国を学んだりすることができた。今後はデジタル教科書やALTを効果的に活用した授業実践を進めていく。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O103 タブレット端末が導入されてから、継続して授業での活用や家庭への持ち帰りを進めている。今後も、各校でICTの活用を進め、効果的な方法は市内の全学校で共有するなどして、教職員のスキルアップも併せて効果的な活用を進めていきたい。	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O101 (達成状況) D	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O102 (達成状況) C	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				
R5	O103 (達成状況) B-	R2	中	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	%	教育指導課
		85.0%	学	実績値	82.6	86.6	86.2				
		R2	小	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		90.1%	学	実績値	90.7	91.2	91.7				

02 「人として備えたい力（人間性）」の育成			達成状況	指標数	3	3	3	3			
				達成数	3	1	1	0	0		
				達成率	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	社会性や規範意識の定着（あいさつの奨励）	「近所の人や知り合いの人にあいさつをしている」児童生徒の割合	R2 86.0%	目標値	87.0	88.0	89.0	90.0	91.0	%	教育指導課
				実績値	87.1	87.1	88.4				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成		以上		
0202	自己肯定感を高めて思いやりの心の醸成（道徳教育の充実）	「友だちのことを思いやり行動することができる」児童生徒の割合	R2 91.0%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	教育指導課
				実績値	93.1	92.8	93.7				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成		以上		
0203	小中学校の各段階におけるキャリア教育の推進	「自分の思いや考えを周りの人に伝えることができる」児童生徒の割合	R2 78.6%	目標値	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5	%	教育指導課
				実績値	79.9	80.9	81.0				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上		
年度評価	R3	0201 継続した指導により、規範意識やあいさつ等の定着が進んでいる。コロナ禍の中で、しばらくは新しい生活様式が継続すると思われるが、地域や家庭との連携を工夫し、一層の定着を図っていく。									
		0202 道徳の教科化に伴い、考え議論する授業や適切な評価の実施により、子供の自己肯定感が高まってきている。今後は、道徳の授業の充実とともに、各教科で人権意識を高める授業を実践し、自他を尊重する態度を育成していく。									
		0203 学び手の視点で構想した授業の実施やICTの活用により、社会的自立の基盤となる能力や態度が育成されてきている。今後も授業改善を一層進め、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。									
	R4	0201 目標値は下回ったものの比較的あいさつに対する意識は高い。各学校であいさつ運動の工夫や推進をし、あいさつに対する意識を高めていく。									
		0202 目標値は下回ったものの相手を思いやる気持ちは育っている。今後も道徳授業や各教科で人権意識を高める授業を実践し自他を尊重する態度を育成していく。									
		0203 学び手の視点で構想した授業の実施やICTの活用により、社会的自立の基盤となる能力や態度が育成されてきている。今後も授業改善を一層進め、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。									
	R5	0201 目標値は下回ったものの令和4年度より1.3ポイント上回っている。全体的に比較的あいさつに対する意識は高い。各学校であいさつ運動の工夫や推進をし、引き続きあいさつに対する意識を高めていく。									
		0202 目標値は下回ったものの、令和4年度より0.9ポイント上回っている。児童生徒の相手を思いやる気持ちは育っている。今後も道徳授業や各教科で人権意識を高める授業を実践し自他を尊重する態度を育成していく。									
		0203 学び手の視点で構想した授業の実施やICTの活用により、社会的自立の基盤となる能力や態度が育成されてきている。今後も学び手の視点を意識した授業改善を一層進め、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。									
中間評価	0201（達成状況） B-										
	（実績評価）	・未達成ではあるが、基準値より2.4ポイント上回るなど着実に上昇しており、あいさつに対する意識は高くなっている。									
	（今後の対応）	・各学校であいさつ運動の工夫や地域や家庭と連携を工夫し、あいさつに対する意識を高めていく。									
	0202（達成状況） B-										
	（実績評価）	・増減はあるものの、基準値より2.7ポイント上回るなど着実に上昇しており、児童生徒の相手を思いやる気持ちは育っている。									
	（今後の対応）	・今後も道徳授業や各教科で人権意識を高める授業を実践し、継続的に自他を尊重する態度を育成していく。									
	0203（達成状況） B+										
	（実績評価）	・令和5年度の目標値を0.5ポイント上回っており、自分の思いや考えを周りの人に伝えることができる児童生徒が育っている。									
	（今後の対応）	・学び手の視点で授業を構想し、授業改善を一層進めていく。継続的に、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。									

03 「命を守る力」の育成			達成状況	指標数	2	2	2	3	3		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	危険を未然に回避する力や緊急時の対応力の育成	地域防災訓練に参加した生徒の割合	— ※1	目標値	—	—	—	—	—	%	教育指導課
				実績値	—	—	—	—	—		
				評価	—	—	—	—	—		
0302	健康的な生活習慣の定着	「規則正しい生活ができています」児童生徒の割合	R2 80.4%	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	%	教育指導課
				実績値	81.6	79.0	79.3				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
0303	運動能力の向上	新体力テスト（8種目）の結果が、県平均以上である種目の割合	R1 75.0%	目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5	%	教育指導課
				実績値	63.0	79.0	68.8				
				評価	× 未達成	○ 達成	× 未達成				
0304	危険を未然に回避する力や緊急時の対応力の育成	小・中学校における防災訓練の実施回数	— ※1	目標値	—	—	—	3	3	回	教育指導課
				実績値	—	—	—				
				評価	—	—	—				
年度評価	0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和3年度は未実施。										
	R3	0302 新しい生活様式が定着し、衛生面や規則正しい生活の重要性が認識されてきている。今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。									
		0303 小学生の持久力や俊敏性が県平均に劣るので、コロナ禍の中でも工夫をして、体育の授業をはじめ学校生活の中で体を動かす機会を設けて運動をすることで持久力や俊敏性を身に付けられるようにしたい。									
	R4	0301 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中学生の参加を見送る地区が多く見られたため、令和4年度目標値は「一」とし、令和4年度に調査した結果を基に令和5年度から令和7年度の目標値を設定する。									
		0302 新しい生活様式が定着し、衛生面や規則正しい生活が認識されてきた。今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。									
		0303 引き続き、運動に興味を持ち、好きになれるような取組を体育の授業の中に取り入れていく。									
R5	0301 地域防災訓練が令和5年度より日曜日実施となったことにより、生徒への参加の促しをしなくなったことや参加者の把握ができなくなったため、実績値を「一」とした。そのため、管理指標0301を廃止し、新たに管理指標0304を設定した。										
	0302 令和4年度に比べ0.3%上回っている。規則正しい生活ができています児童生徒は増えている。今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。										
	0303 中学校はほとんどの種目で全国平均を上回るが、小学校では上回る種目が半数にとどまっていた。中学校は、現在の取組を継続し、小学校では、運動に興味を持ち、好きになれるような取組を体育の授業の中に多く取り入れていく。										
中間評価	0301（達成状況） —										
	（実績評価）		・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中学生の参加を見送る地区が多く見られたため、令和3年度、4年度については実績がなく「一」とした。								
	（今後の対応）		・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度及び令和3年度は未実施となった。地域防災訓練が令和5年度より日曜日実施となったことにより、生徒への参加の促しをしなくなったことや参加者の把握ができなくなったため、管理指標0301を廃止し、新たに管理指標0304を設定した。								
	0302（達成状況） B-										
	（実績評価）		・令和5年度は、令和2年度の基準値に比べ1.1ポイント下回っている。								
	（今後の対応）		・生活リズムを整えることの必要性を認識し、今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。								
	0303（達成状況） C										
（実績評価）		・中学校では、ほとんどの種目で全国平均を上回っているが、小学校では50%程度にとどまっている。									
（今後の対応）		・運動に興味を持ち、好きになれるような取組を体育の授業の中に取り入れていく。加えて、授業以外でも体を動かす機会を設けていく。									

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度及び令和3年度は未実施となった。地域防災訓練が令和5年度より日曜日実施となったことにより、生徒への参加の促しをしなくなったことや参加者の把握ができなくなったため、管理指標0301を廃止し、新たに管理指標0304を設定した。

O4 教育的支援体制の充実			達成状況		指標数	5	6	6	6			
					達成数	1	2	3	0	0		
					達成率	20.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401 支援員の適正な配置	教育的支援が必要な児童生徒に対する支援員の割合	R2 7.9%		目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	%	教育指導課	
				実績値	10.2	11.6	10.5					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O402 教職員の研修強化	特別支援教育に関する研修会を通じて特別支援教育への知識や理解が深まったと感じた参加者の割合	R3 100% ※2		目標値	—	95.0	95.0	95.0	95.0	%	教育指導課	
				実績値	100.0	100.0	100.0					
				評価	—	○ 達成	○ 達成					
O403 校内及び市就学支援委員会の充実	市就学支援委員会の判定に基づき、適正に就学した児童生徒の割合	7.9 65.1%		目標値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0	%	教育指導課	
				実績値	63.0	62.7	68.9					
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成					
O404 いじめ対策の推進	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	R2 96.0%		目標値	97.0	98.0	99.0	100	100	%	教育指導課	
				実績値	96.0	95.9	97.2					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O405 不登校対策の推進	不登校児童生徒の出現率	R2 1.62%	小学校	目標値	1.57	1.52	1.47	1.42	1.37	%	教育指導課	
				実績値	2.43	2.69	4.78					
		R2 5.26%	中学校	目標値	5.21	5.16	5.11	5.06	5.01	%	教育指導課	
				実績値	6.75	7.06	7.19					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R3	O401 目標値は上回ったものの、今後も更なる支援員配置の充実を図るため、業務内容や雇用形態等を研究していく。										
		O402 R3は目標値の設定ができていなかったため、評価は「—」とした。今後も専門的な知識が深まるような研修の実施に努める。										
		O403 園、学校が市で雇用している特別支援教育アドバイザー訪問の活用をしたり、特別支援学校職員の巡回相談を利用したりしながら、保護者との面談を積み重ね、円滑な就学支援を進めていく。										
		O404 目標値を下回ったものの、子供たちのいじめに対する意識は高い。道徳授業の充実等により、子供の人権感覚を一層高め、学校全体でいじめを許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。										
		O405 不登校児童生徒の出現率は、全国的にも悪化の一途を辿っており、学校だけでできることも限られるので、来年度以降は福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化に歯止めをかけていきたい。										
	R4	O401 目標値を達成することができたが、特別な支援を必要としている児童生徒は増加傾向にあるため、今後も丁寧に実態調査を行い、指導の充実を図っていく。										
		O402 特別支援教育コーディネーターや特別支援教育支援員等を対象とした研修会を複数回実施した。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。										
		O403 市就学支援委員会が審議する件数は増加傾向にある。今後も、市特別支援アドバイザーの巡回相談等を効果的に活用し、適正な判定につなげていく。										
		O404 目標値は下回ったものの子供たちのいじめに対する意識は高い。子供たちの人権感覚を高めるためにも道徳教育の充実等を図っていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。										
		O405 不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、新規の不登校児童生徒が出ないように初期の対応を大切にしていく。										
中間評価	R5	O401 目標値は上回ったものの、今後も更なる支援員配置の充実を図るため、業務内容や雇用形態等を研究していく。また、支援員のスキルアップのための研修も実施していく。										
		O402 市内における特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にある。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。										
		O403 就学支援を必要とする児童は増加傾向にあり、園内・校内の就学支援に対し、特別支援アドバイザー派遣事業を継続して行い、円滑な就学支援につなげていく。										
		O404 昨年度と同様に、目標値は下回ったものの子供たちのいじめに対する意識は高い。子供たちの人権感覚を高めるためにも道徳教育の充実等を図っていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。										
		O405 昨年度と同様に、不登校出現率は前年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、新規の不登校児童生徒が出ないように初期の対応を大切にしていく。										
	中	O401 (達成状況) A										
		(実績評価)	・目標値は上回ったものの、特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にある。今後も更なる支援員配置の充実が必要と感じる。									
		(今後の対応)	・支援員の特別支援教育に関するスキルアップを狙うため、研修を実施していく。									
		O402 (達成状況) A										
		(実績評価)	・特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援教育支援員研修等に参加する教員は、特別支援教育への知識や理解が深まったと感じている。									
評価	間	(今後の対応)	・市内における特別な支援を必要とする児童生徒は今後も増加することが予想される。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。									
		O403 (達成状況) B+										
		(実績評価)	・通級指導教室への入級が増加傾向にあり、就学支援委員会の判定が適正に行われたと考えられる。									
		(今後の対応)	・審議件数の増加に対して、園・校内就学支援において審議の必要性を精査するよう努める。									
		O404 (達成状況) B-										
価	間	(実績評価)	・目標値は下回っているが、過去3年間いずれも差は5ポイント以内であり、令和5年度については、過去2年間と比べると一番高い実績値を示している。									
		(今後の対応)	・子供たちの人権感覚を高めるために、学校生活の様々な機会に人権を意識できるような指導をしていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。									
		O405 (達成状況) D										
		(実績評価)	・全国的に不登校数が増加傾向にある中で、不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。									
		(今後の対応)	・スクールソーシャルワーカーを活用し、福祉や外部機関と学校との連携を深めることで出現率の悪化を防いでいく。									

※2 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

05 地域社会との連携推進			達成状況	指標数	2	3	3	3	3		
				達成数	1	1	3	0	0		
				達成率	50.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	郷土愛の醸成	本市のことが好きと答えた児童生徒の割合	R3 89.0%※3	目標値	—	89.2	89.5	89.7	90.0	%	教育指導課
				実績値	89.0	89.0	90.9				
				評価	—	× 未達成	○ 達成				
0502	地域活動への積極的な参加	地域で行われる活動に積極的に参加している児童生徒の割合	R2 60.5%	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	%	教育指導課
				実績値	58.0	59.9	65.5				
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
0503	学校運営に関する情報発信	地域の広報誌や掲示板、公共施設等で情報発信している学校の割合	R2 80.0%	目標値	85.0	90.0	95.0	100	100	%	教育指導課
				実績値	100	100	100				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	0501 社会科の授業や地域学習を通して、子供たちは伊東市の特徴や他地域との違いを知り、良さや愛着を感じている。今後も、発達段階に応じた地域学習を実施するとともに、コロナ禍の感染状況を考慮しながら、地域人材の活用を進めていく。R3は目標値の設定ができていなかったため、評価は「—」とした。									
		0502 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、地域の行事自体が中止になることが多く、児童・生徒の地域行事への参加機会は限定されてしまった。学校は、可能な方法で地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫はしているが、感染防止の観点から難しい面も多い。									
		0503 全校が回覧板や地域の掲示板を通じて情報発信をした。今後も継続して情報を発信していく。									
	R4	0501 生活科や社会科などの地域学習を通して、子供たちは伊東市の特徴や他地域との違いを知り、郷土愛を育んでいる。今後も発達段階に応じた地域学習を実施するだけでなく、地域人材の活用を進めていく。									
		0502 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、地域の行事自体が中止になることが多く、児童・生徒の地域行事への参加機会は限定されてしまった。学校は、可能な方法で地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫をしていく。									
		0503 学校だよりを通じて、各校の教育活動を地域の方に情報発信することができた。地域総がかりで子どもを育てていくという理念のもと、令和5年度も継続して地域への情報発信を大切にしていきたい。									
	R5	0501 令和4年度よりも1.9ポイント上回っている。社会科や生活科などの地域学習を通して、子供たちは伊東市の特徴や他地域との違いを知り、良さや愛着を感じている。今後も、発達段階に応じた地域学習を実施するとともに、地域人材の活用を進めていく。									
		0502 地域の行事が再開する地域が増えたことで、児童・生徒の地域行事への参加機会も増加した。今後、学校では地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫をしていく。									
		0503 学校だよりや学校HPを通じて、各校の教育活動を地域の方に情報発信することができた。令和6年度も継続して地域への情報発信を大切にしていきたい。									
中間評価	0501（達成状況） B+										
	（実績評価）	・令和7年度の目標値を0.9ポイント上回った。子供たちは伊東市の特徴や他地域との違いを知り、良さや愛着を感じている。									
	（今後の対応）	・社会科や生活科などの地域学習の充実を図るために今後も、発達段階に応じた地域学習を実施するとともに、地域人材の活用を進めていく。									
	0502（達成状況） B+										
	（実績評価）	・令和7年度の目標値を0.5ポイント上回った。地域行事への参加機会が増え、地域とのつながりを大切にする意識を持っている。									
	（今後の対応）	・引き続き、学校では地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫をしていく。									
	0503（達成状況） A										
	（実績評価）	・学校だよりや学校HPを通じて、各校の教育活動を地域の方に情報発信することができた。									
	（今後の対応）	・引き続き、学校だより等を通じて各校の教育活動を地域に発信していく。									

※3 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

担当課	生涯学習課	施策４－３の全指標達成率						
政策目標	4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3	生涯学習活動の推進	指標数	11	11	11	11	11
目指す姿		市民が生涯にわたる学びや活動に参加し、豊かさを享受できる	達成数	2	2	2	0	0
			達成率	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%

成果指標 1	「生涯学習活動の推進」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	75.3	75.9	76.6	77.2	78.0	%	生涯学習課
		74.7%	実績値	72.8	69.4	61.4				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	市民満足度調査を参照することにより、市民の中から無作為に抽出された広範囲の皆様の意見や評価を把握することが可能となるため。									
成果指標 2	市民一人当たりの図書貸出冊数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	2.88	2.92	2.95	3.28	3.76	冊	生涯学習課
		2.81冊	実績値	2.70	2.57	2.50				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	総貸出数を新図書館の開館に向けた令和5年度までは毎年度1,000冊、開館年度となる令和6年度は20,000冊、令和7年度は30,000冊増やすことを目標とする。なお、人口数は今後の人口減少を想定し毎年度500人減で算出している。（基準値：総貸出数＝令和元年度192,472+1,000冊÷193,500冊①、人口＝令和元年度人口平均68,505人－500人÷68,000人②から、①÷②÷2.85冊）									
R3年度	1（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、各種講座等について中止せざるを得ない状況が発生したことも影響したものと考えている。 （次年度修正点）・withコロナを踏まえ、感染対策を的確に実施し、事業をできる限り展開することで、市民の皆様の満足度向上が図られるよう努める。									
	2（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、来館者数が減少したことも影響したものと考えている。 （次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を的確に実施しながら、より多くの市民が利用できるよう蔵書構成に努める。									
R4年度	1（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種講座等への参加が減少したことが影響したものと考えている。 （次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類へと移行するのを踏まえ、市民の皆様の満足度向上につながるような各種講座の実施に努める。									
	2（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、来館者数が減少したことも影響したと考えている。 （次年度修正点）・より多くの市民が手に取りたくるように企画展示など配架に工夫をし、多くの市民が利用しなくなるような図書館運営に努める。									
R5年度	1（実績評価）・コロナ禍で休止及び解散した団体が多く、コロナ前に比べ、活動団体が減っていることが原因と考えている。 （次年度修正点）・市民が団体を検索しやすく、また参加しやすい情報提供を心掛け、市民満足度の向上が図れるよう努める。									
	2（実績評価）・来館者数は増加しているが、貸出冊数の増加にまで結びついていないことが考えている。 （次年度修正点）・今後も、企画展示など配架に工夫をし、より多くの市民が手に取り、読みたいと感じるような図書館運営に努める。									
中間評価	1（達成状況）	D								
	（実績評価）	・年々市民満足度は減少傾向であり、講座等への参加率や活動団体の減少が原因と考えている。								
	（今後の対応）	・市民が団体を検索しやすく、また参加しやすい情報提供を心掛け、市民満足度の向上が図れるよう努める。								
	2（達成状況）	D								
	（実績評価）	・年々貸出冊数は減少傾向であり、読書離れや若年層の利用者数の減少が原因と考えている。								
	（今後の対応）	・今後も、企画展示など配架に工夫をし、より多くの市民が手に取り、読みたいと感じるような図書館運営に努める。								

O3 生涯学習団体の情報提供の充実			達成状況	指標数	3	3	3	3			
			達成数	1	1	1	0	0			
			達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	広報誌やSNS等を活用した情報提供	広報誌やSNS等を活用した生涯学習団体の情報提供件数	R1 16件	目標値	16	17	18	19	20	件	生涯学習課
				実績値	13	31	29				
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
O302	市内サークル活動団体の情報収集	「まなびのとびら」に活動状況を掲載する団体数	R1 288団体	目標値	290	300	300	310	310	団体	生涯学習課
				実績値	295	240	239				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成				
O303	生涯学習情報誌やホームページによる情報発信	ホームページ「まなびのとびら」の更新回数	R1 8回	目標値	10	10	12	12	12	回	生涯学習課
				実績値	2	2	0				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
年度評価	R3	O301 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことから目標を達成できなかった。団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組みを令和3年度から開始しており、この取組を周知するとともに、積極的な広報に努める。									
		O302 市HP等で広く周知を図ったことなどから目標を達成することができた。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていく。									
		O303 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことから目標を達成できなかった。今後は感染状況を見極めながら、積極的な広報に努める。									
	R4	O301 団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組みを令和3年度から開始しており、令和4年度はこの取組の周知が進んだことから、目標値を大幅に上回った。今後も積極的な広報を継続する。									
		O302 まなびのとびらに掲載したことにより加入者が大幅に増加したため一時的に掲載を停止する団体や、新型コロナウイルス感染症により活動を縮小するため掲載を停止する団体が多数あったため目標値を大幅に下回った。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていく。									
		O303 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことから目標を達成できなかった。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう、定期的な更新に努める。									
	R5	O301 団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組を令和3年度から開始しており、令和5年度はこの取組の周知が進んだことから、目標値を大幅に上回った。今後も積極的な広報を継続する。									
		O302 令和4年度新型コロナウイルス感染症により活動を縮小するため掲載を停止した団体が、令和5年度も引き続き活動を停止し、再掲載に至らなかったことから目標値を大幅に下回った。引き続き広報いとうや市HP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていく。									
		O303 令和4年度新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が、令和5年度も引き続き活動を自粛し再掲載に至らなかったことや新規で登録する団体が少なかったことから目標を達成できなかった。引き続き広報いとうや市HP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう、定期的な更新に努める。									
中間評価	O301（達成状況） B+										
	（実績評価）	・団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組を令和3年度から開始しており、令和5年度はこの取組の周知が進んだことから、目標値を大幅に上回った。									
	（今後の対応）	・引き続き広報誌やSNSを活用した団体活動の積極的な情報提供に努めていく。									
	O302（達成状況） C										
	（実績評価）	・令和4年度に新型コロナウイルス感染症により活動を縮小するため掲載を停止した団体が、令和5年度も引き続き活動を停止し、再掲載に至らなかったことから目標値を大幅に下回った。									
	（今後の対応）	・令和6年度はまなびのとびらの様式を変更し、より団体が掲載したいと思えるよう常に利用者目線で考え、広報いとうや市HP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていく。									
	O303（達成状況） D										
	（実績評価）	・令和4年度に新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が、令和5年度も引き続き活動を自粛し再掲載に至らなかったことや新規で登録する団体が少なかったことから目標を達成できなかった。									
	（今後の対応）	・引き続き広報いとうや市HP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう、定期的な更新に努める。									

O4 魅力ある図書館の構築事業の推進				達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	0	1	1	0	0			
				達成率	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401	様々なイベントや企画展の実施	イベント・企画展の開催数	R1	目標値	42	44	46	50	60	回	生涯学習課	
			38回	実績値	30	43	49					
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成						
O402	新図書館建設	市民満足度調査における図書館の利用割合	R1	目標値	39.1	39.5	39.9	42.4	47.3	%	生涯学習課	
			38.4%	実績値	38.4	41.4	34.7					
			評価	× 未達成	○ 達成	× 未達成						
年度評価	R3	O401	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、おはなし会など対面講座を中止したため、目標値を下回る結果となったが、コロナ影響下でも実施できる新たな企画を実施した。令和4年度については感染状況を見極めながら、感染対策を講じた上で図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。									
		O402	新図書館建設については、令和3年度末に基本設計業務が完了し、令和4年度は実施設計業務を進めていく。新図書館においては、蔵書の増加のみではなく、各種機能の充実を図るとともに、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用促進に向け、SNS等を活用したPRを実施し、機運醸成に努める。									
	R4	O401	前年度を上回るイベントや企画展を開催したものの、新型コロナウイルス感染症対策により中止とした事業があったため、目標値には到達しなかった。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。									
		O402	新図書館建設については、令和4年度に実施設計が完了し、令和5年度は新築工事を進めていく。新図書館においては、蔵書の増加のみではなく、各種機能の充実を図るとともに、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用促進に向け、市民説明会やSNS等を活用したPRを実施し、機運醸成に努める。									
	R5	O401	目標値を上回るイベントや企画展を開催できた。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。									
		O402	新図書館建設については、令和5年度の入札不調を踏まえ、全体事業費の縮減に向け再設計業務を進めていく。再設計業務においては、事業規模は縮小するものの、蔵書の増加や各種機能の充実を図り、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用促進を目指し、検討を進める。									
中間評価	O401（達成状況） B+											
	（実績評価）	・目標値を上回るイベントや企画展を開催でき、来館者数は増加傾向になっている。										
	（今後の対応）	・今後も図書館の魅力を発信できるような企画を実施するよう努める。										
	O402（達成状況） C											
評価	（実績評価）	・新図書館建設事業に係る積極的な情報提供に努め、これを契機に、「現図書館を利用している」方の割合を増やしたいと考えていたが、目標に達することができなかった。										
	（今後の対応）	・令和6年度からインスタグラム等SNSに『伊東市新図書館計画』のアカウントを新設し、再設計業務における検討経過等について情報発信を行うことにより、建設に向けた機運醸成に努める。										

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	9	9	9	9	9	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	5	6	6	0	0		
				達成率	55.6%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%		
O1 声かけ・あいさつ運動の推進		達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
			達成数	1	1	1	0	0			
			達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	地域におけるあいさつ運動の推進	あいさつ運動における自治会等の地域団体の賛同回数	R1 129団体	目標値	132	135	139	142	145	団体	生涯学習課
				実績値	162	160	151				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O102	小・中学校及び高校におけるあいさつ運動推進	小・中学校及び高校でのあいさつ運動延参加者数	R1 2,754人	目標値	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760	人	生涯学習課
				実績値	632	1,554	742				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O103	あいさつ運動の広報の推進	「あいさつ運動瓦版」やSNS等を活用した広報回数	R1 5回	目標値	5	6	6	7	7	回	生涯学習課
				実績値	4	4	3				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
年度評価	R3	O101 広報いとうで賛同者の募集を図ったことなどから目標を達成した。引き続き広報媒体等を活用し賛同団体の募集を図っていく。									
		O102 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校を訪問する事前説明会を開催できなかったこと、夏の一齐活動を荒天のため中止したことから、小・中学校及び高校でのあいさつ運動延べ参加者数が大幅に減少し、目標を大幅に下回る結果となった。天候に左右されるものであるが、目標達成できるよう努める。									
		O103 夏の一齐活動を荒天により中止したため、広報の機会が減り目標を下回る結果となった。令和4年度については、広報手法等を新たに検討する中で、周知を図っていく。									
	R4	O101 引き続き賛同していただいた団体がほとんどであったため目標値よりも高い結果となったが、賛同数は減少したため、情報発信を強化し、新規賛同団体の増加を図っていく。									
		O102 市民一齐活動を夏と秋の年2回実施している。令和3年度は、台風の影響で夏の市民一齐活動を中止としたが、令和4年度は予定通り実施できたため延べ参加者数は2倍以上に増加したものの、目標数値に至らなかった。今後は学校へのアプローチを見直し、参加者数の増加を図っていく。									
		O103 あいさつ運動瓦版とSNS等を活用した広報回数が夏と秋の市民一齐活動において各2回であったため、目標数値に至らなかった。今後はSNSで事前告知を行い、情報発信に努めていく。									
	R5	O101 目標値を上回ったものの、団体構成員の高齢化による活動規模の縮小を理由に、賛同団体を辞退する連絡や、団体の消滅による辞退連絡が相次ぎ、賛同団体数が減少した。新規賛同団体獲得のための呼びかけや活動周知に努めていく。									
		O102 秋の一齐活動日当日の天候が悪く、活動を見送ったり、縮小したりするケースが見られたため、参加人数が減少した。また、東小、西小、旭小が統合したため、指標としている活動場所自体が減少し参加人数が減少した。									
		O103 秋の一齐活動日当日の天候が悪く十分な活動ができなかったことから、SNS発信が夏の一齐活動についての報告に留まり、実績値が減少した。今後は活動前の発信回数を増やすとともに、効果的な発信方法についても検討していく。									
中間評価	O101（達成状況） A										
	（実績評価）	・15年以上の継続した活動であることから活動に対し一定の認知度があり、賛同を得やすい環境が整っていることが要因と考える。一方で、賛同団体登録システムの認知度が低いと、登録団体数は実際よりも伸び悩んでいると評価する。									
	（今後の対応）	・賛同しやすい環境やメリット等を整備し、活動を盛り上げていく。									
	O102（達成状況） D										
	（実績評価）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛する傾向にあり、実績が急落した。徐々に活動実績は回復しているが、小学校の統廃合により指標としていた活動の場が減少し、実績に影響している。									
	（今後の対応）	・学校でなくても、通学路において多くの団体があいさつ運動を継続して実施していることから、引き続き学校を中心に活動を盛り上げていく。									
O103（達成状況） D											
中間評価	（実績評価）	・年2回の一齐活動の報告が瓦版とSNSでの発信に留まったため、目標を達成できなかった。									
	（今後の対応）	・実施前の活動周知を強化し、活動を盛り上げていく。									

O4 次世代を担うリーダーの育成			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	3	3	3	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	リーダー育成機会の拡大（夢チャレンジくらぶの開催）	ふるさと教室を経て、夢チャレンジくらぶに参加した者の割合	R1 40.5%	目標値	33.3	40.0	40.0	40.0	40.0	%	生涯学習課
				実績値	37.7	52.0	42.5				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O402	少年教育の推進（小学生ふるさと教室の開催）	小学生ふるさと教室の参加者数	R1 40人	目標値	40	40	40	40	40	人	生涯学習課
				実績値	50	40	40				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O403	年少者を指導する中高生の育成（静岡県初級・中級青少年指導者認定者事業の推進）	夢チャレンジくらぶの参加者のうち、静岡県青少年指導者認定を受けた者の割合	R1 52.9%	目標値	52.9	55.6	55.6	55.6	55.6	%	生涯学習課
				実績値	82.6	84.6	94.1				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	O401 新型コロナウイルス感染症拡大の状況の中、可能な限り事業を推進することで、目標を達成した。引き続き、ふるさと教室を経由して夢チャレンジくらぶへ進む流れを構築していく。									
		O402 ふるさと教室については、年々応募者が増加し令和3年度は抽選となった。新型コロナウイルス感染症拡大の状況においても、当該事業への参加意欲が高いため、引き続き事業のブラッシュアップを図っていく。									
		O403 令和2年度までに静岡県青少年指導者認定を受けた者が令和3年度の夢チャレンジくらぶに13人参加したこと、令和3年度の夢チャレンジくらぶに新たに参加した10人のうち6人が指導者認定を受けたことから、目標値を大きく上回ることができた。引き続き新規参加者を募る中、級別認定者を増やすことで、次世代を担うリーダーの育成に努める。									
	R4	O401 ふるさと教室参加希望者が年々増加し、夢チャレンジくらぶ生として参加を希望する生徒が増えているため、引き続きこの流れを推進していく。									
		O402 ふるさと教室については、年々応募者が増加し令和4年度は、定員40人に対し約100人を超える143人の応募があった。当該事業への参加意欲が非常に高いため、引続き事業のブラッシュアップを図っていききたい。									
		O403 令和3年度までに静岡県青少年指導者認定を受けた者が令和4年度の夢チャレンジくらぶに13人参加したこと、令和4年度の夢チャレンジくらぶに新たに参加した13人のうち9人が指導者認定を受けたことから、目標値を大きく上回ることができた。引き続き新規参加者を募る中、級別認定者を増やすことで、次世代を担うリーダーの育成に努める。									
	R5	O401 ふるさと教室参加希望者は高水準で推移しており、夢チャレンジくらぶ生として参加を希望する生徒が増えているため、引き続きこの流れを推進していく。									
		O402 前年度から減少はしたものの、定員40人に対し約90人の応募があった。当該事業への参加意欲が非常に高いため、引き続き事業のブラッシュアップを図っていききたい。									
		O403 令和5年度中に新規に指導者認定を受けた者が10人いたことから、目標値を大きく上回ることができた。今後も次世代を担うリーダーの育成に努める。									
中間評価	O401（達成状況） A										
	（実績評価）	・ふるさと教室（小学生）から夢チャレンジくらぶ（中高生）まで継続して青少年関係事業に参加する土台が形成された。									
	（今後の対応）	・夢チャレンジくらぶのほとんどを中学生が占めていることから、今後は高校生の参加率をさらに向上させる方法を検討していく。									
	O402（達成状況） A										
	（実績評価）	・参加しやすいよう講座の回数を概ね月1回程度にしたことにより、安定して定員を超える申込数を維持できるようになった。									
	（今後の対応）	・講座内容をブラッシュアップするとともに、魅力ある新規講座を開拓していく。									
O403（達成状況） A											
	（実績評価）	・青少年指導者認定者事業を夢チャレンジくらぶ募集の段階で周知することにより、毎年安定して新規の初級認定者を輩出することができた。									
	（今後の対応）	・初級取得後、中級にも積極的に挑戦してもらえるよう周知を図っていく。									

O4 市民の健康維持及び体力向上			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	スポーツ教室の拡充	参加延人数	R1	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500	人	生涯学習課
			実績値	3,908	6,280	6,068					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O402	市民の体力向上	体力運動能力調査参加者数	R1	目標値	26	27	28	29	30	人	生涯学習課
			実績値	0	0	15					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R3	O401 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止とした事業が多くあり、目標を達成することはできなかった。令和4年度以降はコロナ禍においても実施ができる方策を模索していく。									
		O402 新型コロナウイルス感染症予防のため、令和3年度事業を中止とした。令和4年度以降はコロナ禍においても実施ができる方策を模索し、市民の体力向上に努める。									
	R4	O401 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止または実施回数を減少した事業があったことが一因として考えられる。教室実施回数及び内容についても伊東市振興公社と共に検討していくとともに新たな事業開催に向けた調査を継続していく。									
		O402 新しい開催方法を模索し、実施について検討したが、令和4年度は実施できなかったため目標値を達成することができなかった。令和5年度は開催日等の調整を行いより多くの市民が参加できるように事業を行っていきたい。									
	R5	O401 新型コロナウイルス感染症による影響はほぼなくなったが、参加者は前年度からやや減少した。リピーターは多いため、新規参加者増加に向けた方策を伊東市振興公社と検討していく。									
		O402 令和5年度は4年ぶりの開催となったが、参加者数は目標値の約半分にとどまった。また、若年層の参加者が少なかったため、幅広い年齢層の参加者増加に努める。									
中間評価	O401（達成状況） D										
	（実績評価）	・コロナ禍による制限や開催数の減少に伴い、従来参加していたリピーターに関しても参加をやめてしまった方がいることが考えられる。									
	（今後の対応）	・伊東市振興公社と連携し、既存の満足度の高い事業の他に魅力的な事業や新しい事業の実施に向けた検討を進めていく。									
	O402（達成状況） D										
	（実績評価）	・コロナ禍による実施方法の見直し等、多くの課題があり、令和4年度まで事業を実施できなかった。このため、事業の認知度が低下したと考えられる。									
	（今後の対応）	・事業の周知を強化し、幅広い年齢層の参加者増加を通して市民の健康増進を図る。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	8	8	8	8	8	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
				達成数	2	2	2	0	0			
				達成率	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
O1 文化財の保護・保存			達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
				達成数	1	1	1	0	0			
				達成率	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	指定文化財等への保護や支援	指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数	R2	目標値	66	67	67	68	68	件	生涯学習課	
			66件	実績値	67	67	68					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					以上
		補助金交付件数	R1	目標値	41	41	42	42	43	件	生涯学習課	
			41件	実績値	40	38	34					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					以上
O102	史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画に沿った施策実施	計画内経過観察項目達成件数（全24項目）	—	目標値	24	24	24	24	24	件	生涯学習課	
			※1	実績値	6	7	7					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R3	O101 指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。次年度以降は、指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。										
		O102 令和3年9月発行の『史跡江戸城石垣石丁場保存活用計画書』をもとに実施したが、目標値を達成するには至らなかった。なお、計画書の概要版と市内の石丁場を解説したパンフレットを作成した。令和4年度は整備活用計画の準備を進めながら、展示等で活用を行っていく。										
	R4	O101 指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。引き続き、指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。										
		O102 目標値を達成するには至らなかったが、民間団体と協力して子ども向けの教材を開発するなど、進展も見られた。令和5年度は整備活用計画の準備を進めながら、展示等で活用を行っていく。										
	R5	O101 指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。引き続き、指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。										
		O102 目標値を達成するには至らなかった。引き続き整備基本計画の準備を進めながら、展示等で活用を行っていく。										
	中間評価	O101（達成状況） C										
		（実績評価）	・指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。									
			（今後の対応） ・引き続き指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。									
		O102（達成状況） D										
（実績評価）		・保存管理、活用、調査研究では達成できた項目があるものの、整備、運営体制の項目は達成に至らなかった。										
		（今後の対応） ・整備基本計画の作成を進めていくとともに、全項目の達成に努める。										

※1 史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画を令和2年度末に策定予定であるため、基準値は一とした。

O4 文化拠点となる場の整備			達成状況	指標数	1	1	1	1	1	単位 担当課	
			達成数	1	1	1	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
O401	文化拠点となる場の整備に向けた調査・研究	文化拠点となる場の整備に向けた調査・研究の実施の有無	－ ※2	目標値	実施	実施	実施	実施	実施		企画課
				実績値	実施	実施	実施				
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	内閣府が実施するPPP/PFI事業に関する企画・構想の事業化支援の採択を受け、教育文化施設建設事業の方向性、事業スキーム、検討課題、検討工程及び関係部局の関与のあり方等の整理を行うとともに、PPP/PFI手法の導入に向けた関係者の理解を醸成するための勉強会を開催した。また、ふじのくに官民連携実践塾を通じて、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者が参画可能な事業スキームを確認した。令和4年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。									
	R4	O401 生涯学習課と建築住宅課において神奈川県小田原市にある「小田原市民ホール（通称：三の丸ホール）」に先進地視察を実施した。令和5年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。									
	R5	O401 PPP/PFI事業に精通したコンサルティング会社を招き、幹部職員を対象としたPFI事業を活用した公共施設の整備・運営に関する勉強会を開催した。令和6年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。									
中間評価	O401（達成状況） A										
	（実績評価）	・PFI事業による建設手法と従来型公共事業による建設手法の主な違いを学び、PFI事業の特徴と効果を理解することができた。									
	（今後の対応）	・PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていくとともに、新文化ホールの建設地の調査・研究を進めていく。									

※2 令和3年度から新たに実施するものであるため、基準値を一とした。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	3	3	2	2	2	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
O1 郷土愛醸成に向けた連携の推進			達成状況	指標数	3	3	2	2	2		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	高校・行政との連携事業の推進	高校と連携した事業数 22事業	R1	目標値	23	24	26	28	30	事業	企画課
				実績値	16	15	22				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O102	高校・行政・関係団体等との連携の推進	高校・関係団体等と連携した事業数 9事業	R1	目標値	11	12	13	14	15	事業	企画課
				実績値	4	10	10				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O103	高校生おもてなし特派員事業の更なる推進	開催日数 9日	R1	目標値	10	8	—	—	—	日	観光課
				実績値	6	5	—	—	—		
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R3	O101 高校との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。									
		O102 高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。									
		O103 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種観光イベントの中止を余儀なくされ、特派員の体験（従事）機会が失われた。高校生をイベント等に従事させるには、感染状況の平穩化が待たれることから、実情に合わせてR4以降の目標値を修正した。									
	R4	O101 目標値に至らなかったため、市内3校が統合した伊豆伊東高校で実施されている総合的な探求の時間「未来学」や課題研究「地域戦略論」のほか、連携の可能性がある校内事業の掘り起こしを行うことで、生徒達の郷土愛につながる取組を増やしていく。									
		O102 前年度の数値よりも数値が上回ったことは評価できるが、目標値には至らなかったため、高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。									
		O103 本年度においても未だ新型コロナウイルス感染症が平穩化されなかったことから、対外的な交流や観光ボランティアへの依頼を見送ったことにより特派員の体験（従事）機会が失われた。なお、本事業が令和5年度から廃止となったこと及び本事業に変わりうる事業がないことなどから目標値を見直す。									
	R5	O101 目標値を達成できなかったが、前年度実績値を上回ったことは評価できる。引き続き、高校との連携の可能性がある事業の掘り起こしを行い、生徒達の郷土愛につながる取組を増やしていく。									
		O102 高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。									
		O103 本事業の中心を担っている伊豆伊東高校において、学校主体で民間企業等と対外的な交流を行っていることから、本事業は廃止とするが、引き続き、本市が高校生と連携して実施する新たな事業について検討を続けていく。									
中間評価	O101（達成状況） D										
	（実績評価）	・各年度ともに目標値を達成することができなかったが、実績件数が伸びてきていることから、今後、目標値の達成に期待ができる。									
	（今後の対応）	・高校との連携が可能な事業について掘り起こしを行い、一つでも多くの事業連携を図り、郷土愛の醸成につながるよう努めていく。									
	O102（達成状況） D										
	（実績評価）	・各年度ともに目標値を達成することができなかった。新たに連携する事業が極めて少ないことが目標値を達成できない要因であると考えられる。									
	（今後の対応）	・新規の事業はもとより、既存事業等についても関係団体及び高校との連携の可能性について検討していく。									
O103（達成状況） —											
	（実績評価）	・令和3、4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対外的な交流や観光ボランティアへの依頼を見送ったため、特派員の体験（活動）機会が制限されてしまった。									
	（今後の対応）	・本事業の中心を担っている伊豆伊東高校において、学校主体で民間企業等と対外的な交流を行っていることから、本事業は廃止とするが、引き続き、本市が高校生と連携して実施する新たな事業について検討を続けていく。									